

科目名 (Eng)		文学 (Japanese Literature)							
担当教員		高橋 圭介							
対象学年等		学科・専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		一般科目 (工学系 4 科)	4	後期	選択	1	(30)	一般	A
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応: (A-1), (A-3).								
	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応: 1).								
		JABEE基準1 (i) との対応: (a).							
授業の概要と方針		①日本語をさまざまな角度から観察し、その特徴を探る。 ②日本語学の知見を言語系 (S P I や日本語検定等) の問題に応用する。							
到達目標		①言葉への興味・関心を高める。 ②普段意識していない言語現象を客観的に分析する力を身に付ける。							
授業計画									
後期	週	授業項目		理解すべき内容				事前学習	
	16	日本語の音声 1		言語学とは何か、母音と子音、調音法、調音点				普段行っている発音やアクセントの特徴を観察する。	
	17	日本語の音声 2		日本語のアクセント、イントネーション、音韻論					
	18	形態論 1		形態素、異形態				具体例を考えてくる	
	19	形態論 2		語形成、小テスト 1				小テストの準備。	
	20	日本語の文字・表記 1		日本語の文字・表記の特徴、現代仮名遣い				課題が出された場合は、しっかりと取り組むこと。	
	21	日本語の文字・表記 2		漢字、送り仮名の付け方、外来語の表記					
	22	意味論 1		意味論とは、成分分析、意義素論、認知言語学					
	23	意味論 2		語の意味関係、類義語、反義語					
	24	意味論 3		比喩、多義語、慣用句					
	25	日本語の文法 1		文の構造、文法カテゴリー、ヴォイス (受身など)					
	26	日本語の文法 2		テンス (時間を表す表現)、小テスト 2				小テストの準備。	
	27	日本語の文法 3		形式と意味の関係、その他					
	28	社会言語学 1		社会方言 (男女差、年齢差)				課題が出された場合は、しっかりと取り組むこと。	
	29	社会言語学 2		地域方言、敬語					
30	テスト返却、日本語の歴史		テスト問題の解説、音韻・文字史、文法の変化				テスト問題を持参。		
試験について		中間試験: 共通科目試験日に50分の試験を実施する。期末試験: 50分の試験を実施する。							
評価方法		定期試験の成績を80%、小テスト・課題の成績を20%として評価する。							
教科書		プリントを配布する。							
参考書		授業でその都度紹介する。							
関連科目									
履修上の注意		提示される概念等を正確に覚えることよりも、むしろ普段感じている (言葉に関する) 素朴な疑問について積極的に考察する姿勢を重視する。							